

いのちの水大ピンチ！断水という非常事態宣言！

自主断水の実践で、より多くの人々に命の水を届けよう！

夜間断水や減圧断水の実施に伴い、高台や一部の地域で出水不良や断水する場合があります。本市では可能な限りパイプラインを通しての給水を考えています。平成6年には、過剰な溜め置きにより、効果的配水量の削減が出来ませんでした。溜め置きは最小限度をお願いします。

給水所へは容器等を持って水を取りに来てください。

- 給水所の開設場所（公民館）
各公民館で給水所を設置していますので、水が必要な場合は容器等を持参の上、近くの給水所まで取りに来てくださるよう、お願いします。
- 給水所の利用時間は、8時30分から22時までです。



お願い

市民の皆さんには、給水時間中であっても、有効に水をお使いいただくよう、節水の徹底にご協力いただきますようお願いいたします

自主断水は、濁り水が発生せず、効果的な節減ができます。

◎ 自主減圧と自主断水で徹底した節水運動を実践しよう。

○ 自主減圧とは

ご自宅の水道メータの止水栓を絞り込むことにより、水道の蛇口の水を半分程度にする節水方法です。

- ①ご自宅の水道メータの止水栓をご確認ください。
- ②水道の蛇口を全開にして水量の確認をしてください。
- ③止水栓を右に回し、完全に閉めた状態で蛇口の水が出ないことを確認してください。
- ④閉めた止水栓を今度は、左に1回り開け、通常の半分の水量になれば完了です。

○ 自主断水とは

断水時間に合わせて自主断水を行うことで、水圧を保て、濁り水が発生しないので、限られた水を有効的に使うことができ、節水につながります。

- ①ご自宅の水道メータの止水栓をご確認ください。
- ②断水時間に合わせ、止水栓を右に回し、完全に閉めてください。
- ③断水時間が終われば、閉めた止水栓を左に1回り開け、通常の半分の水量になれば完了です。
ただし、トイレ等必要な場所には、汲み置き水を必要最小限（バケツ1～2杯）ご用意ください。



早明浦ダムが0（ゼロ）になると、水道というライフラインが麻痺して、産業・経済活動等に大きく影響を与え、都市機能の動脈が寸断されるという非常事態となります。
特に、病院や社会福祉施設、社会的弱者の方々に対して、非常に大きな不安と苦痛を与えることとなります。
本市としては、水源確保と必要水量の給水に全力を臨みますが、市民の皆様一人一人の自主減圧・自主断水と徹底した節水が不可欠です。
夜間断水や減圧給水の実施と一世帯いつもの半分に節水ができなければ、夜間断水の強化や昼間の断水等、平成6年の大濁水以上の対応が必要となります。
なお、断水時間中の注意事項は次のとおりです。
・断水時間中に出る水は消防防災用と水道管を守る保安用水ですので、絶対に使用しないでください。
・断水時間中に蛇口を開け放しにすると、給水開始時に水が流れっぱなしになるので、絶対に蛇口を開けないでください。

今すぐできる有効な節水方法は次のとおりです。

毎日の使用量を
半分に
してください。

風呂	● 隔日入浴で（浴槽容量180リットルとして）……→90ℓ/日 ● 風呂水を減らして（ためる量を20%減らすと）……→35ℓ/日
シャワー	● 使用時間を減らして（10分使用を8分の使用で）……→35ℓ/日
炊事	● 食器洗いはため洗いで ……………→80ℓ/日
洗顔・歯磨き	● 洗顔はため洗いで ……………→15ℓ/日 ● 歯磨きはコップに汲んで ……………→20ℓ/日
トイレ	● 流水回数を減らして1回当たり ……………→20ℓ/日 「小」のときの流水もできるだけ少なく
洗濯	● まとめ洗いで4日分（4回）を3回にままとすると ……………→45ℓ/日 ● 風呂の残り湯を初期使用で1回当たり ……………→40ℓ/日
掃除、散水	● 風呂の残り湯をバケツ3杯使用で（バケツ1杯は約10リットル） ……………→20ℓ/日

右記節水量を目安に、各種組合せにより、一世帯250リットルの節水をお願いします。

■お問い合わせ

高松市水道局
お客さまセンター
電話 839-2731

断水中は、次のようなことにご注意ください。

- 1 鉄サビ等の濁りが出たらバケツに汲み置きし、雑用水として有効利用しましょう。
 - 2 蛇口はしっかり締めましょう。
 - 3 飲料用は、ポリタンクや蓋付きバケツ等に必要最小限度の汲み置きをしましょう。
 - 4 入浴はシャワーを中心に済ませ、残り湯は、トイレ、洗濯等の雑用水に使いましょう。
 - 5 給湯器（湯沸かし器、電気温水器等）は使えません。
 - 6 水道幹線の近くは水の出る所もありますが、保安用水ですので絶対使用しないでください。
(保安用水は、消防防災用と水道管を守るための水です。)
- 受水槽のある建物は
- ・流入水に注意し、受水槽に濁りが入らないように注意しましょう。
 - ・流入不足による各種機械の空運転に注意しましょう。
 - ・水冷式クーラー、冷凍庫の水使用機器は断水、濁りに注意しましょう。
 - ・管理人さんとの連絡を密にしましょう。

善意の井戸の活用

ご自宅の近隣に善意の井戸のある所がありましたら、ご家庭の雑用水としての活用をお願いします。

水事情が日増しに厳しくなっており、水対策本部・報道機関（新聞紙、テレビ、ラジオ）等からのニュースにご注意ください。

ニュースにご注意